

JICAのBOPビジネス支援に向けた取り組み

【資料8】

基盤整備

- BOPビジネスの類型化、成功/失敗事例の教訓分析
- ナレッジの共有・発信（HPの充実化、シンポジウムの開催含む）
- BOPビジネスの啓蒙、BOPビジネス（ソーシャルビジネス）ネットワークの強化（プラットフォーム化）

資金調達

- BOPビジネスのスケールアップのための資金支援の検討
 - ・BOPFS2ndフェーズ
 - ・BOPファンド
- 他ドナーとの情報共有、他ドナーへの事業紹介

事業化支援

- 調査中のサポート体制の強化
- パイロット事業の推奨
- JICAの有する、途上国政府とのネットワークを通じ、法制度面等、ビジネスの環境を整備する技術協力やパートナーシップ形成等の連携強化
- JICA事業との連携の追求・活用促進

開発効果の測定

- JICAとしては、BOPビジネス支援に当たり開発効果の検証が必要
- 民間企業にとっては、見込まれる開発効果（社会性）を定量的・定性的に示すことで、インパクト投資家等の資金調達先を確保し、事業化が実現する可能性が高まることを期待